

当財団の動画学習サイト内で、交通コメンテーター 西村直人氏に自動車の自律自動走行などを解説していただくコーナー『人、クルマ、そして夢。』にて、新コンテンツ『昔から安全を大切にした SUBARU（歴史編）』を本日公開しました。

（株）SUBARUが目指す「2030年・死亡交通事故ゼロ」達成に向けた高度な運転支援技術の“今”と“将来”について深掘する、シリーズ動画『進化を続ける安全技術・運転支援技術』の第1弾です。

同社の開発・実験施設内で歴代のスバル車 120 台以上を保管する「スバル技術資料館」にて、同社のクルマ作りの原点ともいえる2つのモデルにフォーカス。当時、どのような安全への考え方をもちながら設計・開発されたのかを解説しています。

取り上げるのは、ひとつ目が1958年発売の軽自動車「スバル360」。車体・エンジン排気量の規格が現在よりはるかに小さいという条件下での、安全・走行性を確保するためのポイントなどを紹介します。

続く1966年発売の「スバル1000」は、国産初の量産型FF（フロントエンジン・フロント駆動）車で、坂道での滑らかな走行を実現するためのレイアウト、視界・操作性の良さなど運転時の疲労度を極力抑える工夫が施されています。

『昔から安全を大切にした SUBARU（歴史編）』は、以下 URL よりご覧いただけます。
<https://www.jaef.or.jp/6-kurumajuku/johokan/people-automobile-dream/index.htm#ch37>

この動画で同社の創業以来引き継がれる安全設計思想・DNA をご理解いただいたところで、今後は順次以下の動画を公開する予定としています。
どうぞご期待ください。

『SUBARUってどんな会社？安全で大切にしているところは？（聴く編 第1回）』
『SUBARUの運転支援技術って？アイサイトは自動運転技術になる？（聴く編 第2回）』
「安全な運転をアシストする『アイサイトX』の代表機能（乗る編 第1回）」
『いざというときに介入する事故を抑制する技術（乗る編 第2回）』

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

【読者の皆さまへ】

私どもは、先生方や高校生の皆さんにより有益なご支援を提供してまいりたいと考えております。

つきましては、当財団の事業やご支援メニューについて、ご意見やご要望等をお寄せください（以下のいずれかの方法にてお願いします）。

1. 当メルマガに返信
2. SNSでのコメント、返信
X（旧ツイッター） <https://twitter.com/jidousyakyoku>
フェイスブック <https://www.facebook.com/jaef2019/>